



茨城県の経済情勢報告

令和2年8月4日

財務省関東財務局水戸財務事務所


本件に関するお問い合わせ先

水戸財務事務所財務課

電話 029-221-3180

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、
 厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる」









項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	

（注）2年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、感染症の影響がみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、感染症の影響により、弱含んでいる。雇用情勢は、感染症の影響により、弱含んでいる。

【各項目の判断】

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある	
生産活動	一進一退の状況にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で減産の動きが広がっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	
雇用情勢	改善のテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	
設備投資	元年度は減少見込みとなっている	2年度は増加見込みとなっている	
企業収益	元年度は減益見込みとなっている	2年度は増益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超幅が拡大している	「下降」超幅が拡大している	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある」

百貨店・スーパー販売額や家電販売額、ドラッグストア販売額などは前年を上回っているものの、コンビニエンスストア販売額は前年を下回っている。また、乗用車の新車登録届出台数は、普通車、小型車、軽乗用車いずれも前年を下回っている。このほか、宿泊や飲食サービスを中心に弱い動きとなっているものの、緊急事態宣言の解除に伴い、下げ止まりの動きがみられる。このように個人消費は、感染症の影響がみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 「巣ごもり消費」が増大し、日持ちする食料品の購入や商品のまとめ買いが多かったため、売上高は前年同期から増加した。(百貨店・スーパー)
- 感染症による在宅勤務の増加で、パソコンなどの情報機器の需要が増加しているほか、高機能・大容量の家電製品の購入に特別定額給付金の一部を充てる傾向がみられる。(家電量販店)
- 感染症による外出自粛や学校の一斉休校などにより、消費者の外出機会が減ったことで、客数が減少したため、売上高は前年同期を下回った。(コンビニエンスストア)
- 緊急事態宣言の解除から徐々にはあるが、稼働率が回復しつつある。(宿泊)
- 6月から少しずつ客足が戻ってきており、宴会の予約が増えている。(飲食サービス)

■ **生産活動** 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」

生産を業種別にみると、電気機械は増加しているものの、化学、生産用機械などが減少しており、感染症の影響により、弱含んでいる。

- 海外の組立工場が再稼働したことや部品調達回復で、生産も前年の状態に戻りつつある。また、外出自粛による「巣ごもり消費」や「内食」の増加の影響で、調理家電の需要が高まった。(電気機械)
- 定期修理の影響を受け、生産量は前年と比較して減少している。(化学)
- 感染症による需要減が顕著となり、4月中旬から5月中旬まで、県内工場でも順次生産調整を行った。(生産用機械)

■ **雇用情勢** 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」

有効求人倍率は低下し、新規求人数も減少傾向にあるなど、感染症の影響により、雇用情勢は弱含んでいる。

- 感染症による業績悪化で、正規雇用の賃金カットを実施した。(飲食サービス)
- 宿泊業、飲食サービス業では、歓送迎会、冠婚葬祭に伴う宴会などの自粛・キャンセルが増えたこと、休業要請への対応、営業時間短縮により業績が悪化し、求人が減少した。(行政機関)

■ **設備投資** 「2年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期

○ 2年度の設備投資計画は、製造業では前年比30.6%の増加見込み、非製造業では同31.7%の増加見込みとなっており、全産業では同31.0%の増加見込みとなっている。

■ **企業収益** 「2年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期

○ 2年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)は、製造業では前年比70.8%の増益見込み、非製造業では同13.5%の減益見込みとなっており、全体では同9.0%の増益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『下降』超幅が拡大している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期

○ 企業の景況判断BSIは、前四半期(2年1~3月期)に比べ、「下降」超幅が拡大している。先行きについては、「下降」超で推移する見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を下回っている」

○ 新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

- 外出自粛の影響により、住宅購入へのニーズがあっても商談が全くできない状況であり、受注の減少・先送りにつながった。(住宅建設)
- テレワークの拡大で、県南地域を中心に首都圏在住者によるリーズナブルな物件探しが加速している。(住宅建設)

■ **公共事業** 「前年を上回っている」

○ 前払金保証請負金額をみると、前年を上回っている。